

センター通信

「探究」と「対話」
「トライ&エラー」



子どもたち一人ひとりの学びを支える学校園づくりに向けて

5月には、管理職人権教育研修をはじめ、特別支援教育に関する研修、「探究的な学び」研修など、多岐にわたるテーマで研修を実施しました。扱う内容はそれぞれ異なりますが、いずれの研修にも共通しているのは、「子どもたち一人ひとりの学びを支える学校園づくり」を実現するという大きな目標です。学習指導要領では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が求められており、児童生徒の理解を深め、学びに向かう力を育成し、多様性を尊重する学校園文化を形成していくことが重要な視点として示されています。



（画像は Gemini により作成）

研修では、子どもたちの実態に応じた取組や支援のあり方など、家庭と学校園との連携を通して学びを保障するための具体的な工夫について改めて確認しました。受講された先生方には、研修で得た学びを日々の実践に活かしていただくとともに、子どもたちの学びの質の相乗的な向上をめざし、教職員同士の対話や校園内研修などで共有くださいますようお願いいたします。

今後も年間を通して、多様な研修を数多く予定しています。研修は、互いの経験や考えを共有し、学びを深める貴重な機会です。チーム学校園として連携を図りながら、引き続き、子どもたち一人ひとりの学びを支える学校園づくりの一層の実現に向けて、先生方の積極的なご参加をよろしく願います。

《受講者の感想より》（一部抜粋）

- ・これからの社会を担う子どもたちの成長に関わっている身として、子どもたちの学びを支えていかなければなりません。AIは、いまや子どもたちにも浸透しています。AIができることとできないことをよく見極め、子どもたちにとって何が大切なのかを考え続けていきたいと思えます。（校園長人権教育研修）
- ・点の支援で終わるのではなく、線の支援、面の支援に繋げていく意識を日々心掛けて取り組んでいきたいと思えます。また今日の内容を自校でも共有し学校全体でチーム学校の意識を持って日々子どもたちとの関わりに活かしていきたいと思えます。（教育相談研修）
- ・単元や活動ごとでぶつ切りにならないように、それぞれのつながりを意識することの大切さを感じました。カリキュラム・マネジメントの視点から考えるということ、これから意識して取り組んでいきたいです。（「探究的な学び」研修）

派遣相談が始まりました

相談員派遣事業

今年度も市立幼稚園・こども園・小学校を対象に、年間10回相談員を派遣します。本事業をより効果的にご活用いただくために、「相談員派遣事業について(pdf)」を学校園間フォルダに所収しております。

詳しい内容や活用方法などを紹介していますので、ぜひご活用ください。

主な活動内容

- ・園児・児童の行動観察
- ・教職員との協議
- ・園児・児童、保護者との面接

「相談員派遣事業について(pdf)」所収場所

【校務用PC(Box内)】学校園間(一般)06_教職員 → _0000 教育センター【令和8年度】 → 相談員派遣事業

昨年度実施した「令和7年度相談員派遣事業にかかるアンケート」では、98%の学校園から「効果がある・概ね効果がある」と回答をいただきました。アンケートの内容を一部紹介します。

《アンケートより》

- 子どもの特性に応じた対応や支援の仕方、教職員の困りごとに親身になって答えてもらった。
- 年間を通して継続的に派遣してもらえることで、子どもの変容や保護者との継続的な相談ができた。
- 教職員とは違った視点でアセスメントをしてもらえ、アドバイスをもらった。
- 子どもの様子について教職員にフィードバックしてもらったことを実践し、子どもの変容につながった。
- 継続的に利用している保護者もたくさんおり、学校と保護者の橋渡しの役割も担ってもらえている。